

# IBM Spectrum Protect Plus クイック導入ガイド

2018年1月版

日本アイ・ビー・エム株式会社

# IBM Spectrum Protect Plus を VMware 仮想アプライアンスとして導入する

IBM Spectrum Protect Plus を導入するには OVF テンプレートをデプロイします。

これにより、アプリケーションを含んだ仮想アプライアンスを VMware の ESX、もしくは ESXi サーバー上に作成します。IBM Spectrum Protect Plus を起動するには、作成された仮想マシンにアクセスします。定義済みのローカルの vSnap サーバーもその仮想マシンに含まれています。

ネットワーク属性の定義にあたってはお客様環境のネットワーク管理者にご確認下さい。

この章は VMware 環境について解説しています。

## IBM Spectrum Protect Plus を仮想アプライアンスとして導入する：

1. vSphere クライアントを使って IBM Spectrum Protect Plus をデプロイします。「ファイル」メニューから「OVFテンプレートのデプロイ」を選択します。vSphere ウェブ・クライアントを使用する場合は、「VMの作成・登録」をクリックし、「OFVまたはOVAファイルから仮想マシンをデプロイ」を選択し、「次へ」で進みます。
2. IBM Spectrum Protect Plus OVA テンプレート・ファイルの場所を選択し、「次へ」で進みます。
3. テンプレートの記述を確認し、「End User License Agreement」に同意し、「次へ」で進みます。
4. テンプレートに名前をつけます。これが仮想マシンの名前になります。仮想マシンをデプロイするのに適切なロケーションを選択し、「次へ」で進みます。
5. デプロイするデータセンター、サーバー、リソースプールを指定します。ストレージの選択が求められた場合はあて先のホストに既に構成されているデータストアを選択して下さい。仮想マシンの構成ファイルや仮想ディスクはデータストアに保管されます。仮想マシンおよびその仮想ディスク作成に十分なサイズのデータストアを選択するようにして下さい。「次へ」で進みます。
6. 仮想ディスク保管先のディスク・フォーマットを選択します。最適なパフォーマンスにはシックプロビジョニングの選択（デフォルト）が推奨です。シンプロビジョニングはディスクスペースを節約できますがパフォーマンスに影響する可能性があります。「次へ」で進みます。
7. デプロイする仮想マシンで使用するネットワークを選択します。「宛先ネットワーク」をクリックするとESXサーバが使用可能なネットワークが表示されます。用意したIPアドレスを仮想マシンに割り当て可能な宛先ネットワークを選択して下さい。「次へ」で進みます。
8. デフォルト・ゲートウェイ、DNS、IP アドレス、ネットワーク・プリフィックスなど仮想マシンのネットワーク情報を登録します。登録するネットワーク情報についてはネットワーク管理者にご確認下さい。固定 IP アドレスではなく DHCP を使う場合はこれらの入力域を飛ばして「次へ」で進みます。DHCP サーバーへのアクセスが無く、固定 IP アドレスを使用したい場合はネットワークマネージャ・テキスト・ユーザー・インターフェース (nmtui) で固定 IP アドレスを設定します。「ネットワークマネージャ・テキスト・ユーザー・インターフェース (nmtui) による固定 IP アドレスの設定」の章を参照下さい。  
デプロイの前に予めデフォルト・ゲートウェイが構成されていることが必要です。スペースを含まずカンマで区切られた複数 DNS スtringがサポートされています。ネットワーク・プリフィックスはネットワーク管理者が管理しています。ネットワーク・プリフィックスは CIDR 表記法で登録します。有効な値は1~32です。
9. 「次へ」で進みます。

10. 登録・選択した内容を確認します。「終了」でウィザードを終了し、OVF のデプロイを開始します。デプロイには時間がかかる場合があります。
11. OVF テンプレートのデプロイ完了後、作成された仮想マシンをパワーオンします。これは vSphere クライアントから実行できます。  
※IBM Spectrum Protect Plus 利用中は仮想マシンがパワーオンされている必要があります。
12. 作成された仮想マシンの IP アドレスをメモしておきます。これはアプリケーションにログオンする際に必要になります。IP アドレスは vSphere クライアントから仮想マシンをクリックし、サマリータブで確認できます。  
※IBM Spectrum Protect Plus の初期化が完了するまで数分待つ必要があります。

参考) VMware Docs > OVF および OVA テンプレートのデプロイ

[https://docs.vmware.com/jp/VMware-vSphere/6.5/com.vmware.vsphere.vm\\_admin.doc/GUID-AFEDC48B-C96F-4088-9C1F-4F0A30E965DE.html](https://docs.vmware.com/jp/VMware-vSphere/6.5/com.vmware.vsphere.vm_admin.doc/GUID-AFEDC48B-C96F-4088-9C1F-4F0A30E965DE.html)

## ネットワークマネージャ・テキスト・ユーザー・インターフェース (nmtui) による固定 IP アドレスの設定

CentOS のネットワーク設定ツールであるネットワークマネージャ・テキスト・ユーザー・インターフェース (NetworkManager Text User Interface (nmtui)) により固定IPアドレスを設定できます。

nmtui を実行するには Sudo 権限が必要です。

1. IBM Spectrum Protect Plus 仮想マシンがパワーオンされていることを確認します。仮想マシンに root ユーザーとしてログインします。root ユーザーの初期パスワードは「sppDP758」です。
2. CentOS のコマンドラインから「nmtui」と打ち、ネットワークマネージャ・テキスト・ユーザー・インターフェースを起動します。矢印キーで選択し、Enterキーで選択します。
2. メインメニューから「**Edit a connection** (接続の編集)」を選択します。
3. ネットワーク接続を選択し、「**Edit** (編集)」を選択します。
4. 「**Edit a connection** (接続の編集)」画面で使用可能な固定 IP アドレスを入力します。
5. 「**OK**」を選択し、固定 IP アドレス構成を保存します。

DHCP ではなく固定 IP アドレスを使用する場合は作成された仮想マシンをリブートして下さい。

# IBM Spectrum Protect Plus を開始する

IBM Spectrum Protect Plus にアクセスし、利用開始します。

## IBM Spectrum Protect Plus へのアクセス:

1. サポートされているブラウザから次のURLを入力します。

<https://<HOSTNAME>>

<HOSTNAME> はデプロイした仮想マシンのIPアドレスです。IBM Spectrum Protect Plus へのアクセスはこれで完了です。

2. ログイン画面ではユーザー名とパスワードを入力します。初回ログインでは、初期ユーザー **admin** と初期パスワード **password** を入力すると、デフォルトの **admin** パスワードのリセットを要求されます。

3. 「**Sign In**」をクリックするとアクセス完了です。

## プロダクトキーの登録

トライアル期間終了後にライセンスを購入すれば、プロダクトキーの登録だけで継続利用が可能です。

1. インターネットアクセス可能なコンピュータ上でプロダクトキーを保管します。保管先をメモしておいて下さい。

2. サポートしているブラウザから次の URL で Spectrum Protect Plus 管理コンソールにアクセスします。

<https://<HOSTNAME>:8090/>

<HOSTNAME> はデプロイした仮想マシンのIPアドレスです。

3. ログイン画面では「**Authentication Type**」のドロップダウンメニューから「**System**」を選択します。パスワードを入力します。デフォルトのパスワードは「**sppadLG235**」です。

4. 「**Manage your licenses**」（ライセンスの管理）をクリックします。「**Choose File**」（ファイルの選択）でコンピュータ上のプロダクトキー・ファイルを選択し、「**Upload new license**」（ライセンスの登録）をクリックします。

5. 「**Logout**」をクリックします。

(出典)

Installation and User's Guide > Install IBM Spectrum Protect Plus as a VMware Virtual Appliance

IBM Spectrum Protect Plus 10.1.0 Licensed Material © IBM Corporation 2017